



戌の日

氏神様で

安産祈願



古くから『着帯』と呼ばれ、現在でも妊娠5ヶ月目の**戌の日**に安産祈願をし、**腹帯**を締める習わしがあります。

犬は多産でありながら、お産が極めて軽いということから、安産の守り神として愛されてきました。

当社御祭神、八幡様は母神様が戦の際に腹帯を巻き皇子を守り無事安産されたことから、安産、子育ての母子神信仰を集めております。

平成31年1月より
12月まで

“戌の日”一覧

平成31年	1月	1日(火祝)・13日(日)・25日(金)
	2月	6日(水)・18日(月)
	3月	2日(土)・14日(木)・26日(火)
	4月	7日(日)・19日(金)
	5月	1日(水祝)・13日(月)・25日(土)
	7月	12日(金)・24日(水)
	8月	5日(月)・17日(土)・29日(木)
	9月	10日(火)・22日(日)
	10月	4日(金)・16日(水)・28日(月)
	11月	9日(土)・21日(木)
	12月	3日(火)・15日(日)・27日(金)



当社にて
安産祈願承ります

良き日を選び
ご参拝下さい

(戌の日以外でもお申込み頂けます)

※詳しくは裏面をご覧ください

お問い合わせ・お申し込み

雪ヶ谷八幡神社

大田区東雪谷2丁目25-1 電話 03-3728-0753
ホームページ <http://yukigaya.info/>



八幡さまの安産について

母子神信仰の八幡さま

妊婦五ヶ月の戌の日には安産祈願をして腹帯を巻きま
す。戌の日に行なうのは、戌は多産で安産であること、
よく吠えて家を守ることから邪気を祓うとも考えられて
いるからです。

腹帯は、岩のように丈夫な子が生まれるように「岩田
帯」と言われ、お腹の中の赤ちゃんを保護し、めでたく
宿った魂を固定するとも考えられ、その起源は当社
御祭神八幡さまにとっても深いかわりがあります。

その昔御祭神**応神天皇(八幡さま)**の母神**神功皇后**は、
託宣により三韓征伐に向かう際、**応神天皇**をお腹に宿し
すでに臨月を迎えていました。大切な皇子を守るため、
卵形の美しい石を帯に挟んで腹に巻き戦に臨まれ、見事
戦を終えて凱旋した皇后は、無事安産で皇子を出産しま
した。これが腹帯の起源と言われています。

子を守る母の心が不思議な力となり、**応神天皇**は母の
胎内に在る時よりそのご神威あらたかにして、**母神**とと
もに大陸の文化を取り入れ国の発展に尽くされました。
そのご威光輝かしいことから、「人々に力を授けたまう
神」として信仰されております。

そして、この母と子の固い絆は「**母子神の信仰**」とし
て「**安産、子育て(成長)の神**」と広く氏子崇敬者の
信仰を集めております。

「**母子神信仰**」の八幡さまで祈願をしたこの腹帯で、
大切な我が子をやさしく守り育てて母子ともに穏やかに
ご出産の日をお迎え下さい。

出産後の人生儀礼

めでたくご出産された後は、お子様の健やかな成長を神さまに
お願いしましょう。

初宮参り

赤ちゃんが初めて氏神さまに参拝する「お宮参り」は、無事に
生を受けたことへの感謝し、氏子の仲間入りを神さまにご報告
するとともに、ご神徳をいただいた健やかな成長を祈願します。

男の子 生後三十一日目
女の子 生後三十三日目

赤ちゃんの体調に合わせ前後の良い日を選んでお参り下さい。

七五三詣

お子さまの成長における節目の年を祝い、無事過ごしてきた
ことへの感謝とこれからも健やかに成長するよう祈願します。

三歳の男の子・女の子 「髪置の儀」
五歳男の子 「袴着の儀」
七歳女の子 「帯解の儀」

ご祈願のご案内

良き日をお選びになりましたら神社へご予約下さい。
ご予約は随時承っております。

ご祈願は午前9時から午後5時までです。

ご祈願料は5千円以上からお気持ちのお納めです。

安産祈願腹帯について

ご自分でお使いになる腹帯（マタニティガードル
など）をお持ち下さい。一緒にお祓いを致します。
なお、神社で腹帯をお授けいたしております。

安産祈願の際に、腹帯をご希望の方は

ご祈願料+腹帯料1千円のお納めとなります。

（なお、札所にて腹帯をお受けになる場合は

3千円でお授けいたしております。）